

2023.6.23
@広島県庁

新たなアプローチによる 校内研修実践講座

～教師等の性暴力の防止に資する研修を考える～



熊本大学大学院人文社会科学部
高岸 幸弘

講義の内容

1. 性暴力を起こした教師のタイプ

2. 加害者タイプから考える予防

- タイプ別に異なる対応
- スクリーニングは難しい
- 学校での予防のターゲット

3. 職場の心理的安全性

- 心理的安全性とは
- 「非」心理的安全な職場とは
- 心理的安全の4要素

1.

性暴力を起こした教師のタイプ

厳罰の限界から考えてみる

重い罰の設定



性暴力事件が増える対象者
難易度が上がり
よりやる気が出るペドフィリア
(become more skillful)



性暴力事件が減る対象者

普段あまり気にしていなかった
しかし気づいたら距離が近づいていた

教師等の性暴力事件は
事件概要も教師の背景も**多様**

実際のケースのタイプ分け

タイプ1

意識が低い、無関心
気が付いたら距離が近づいていた

性的意図なし

性的意図あり

タイプ2

ストレス発散

タイプ3

女性教師事件の典型例, 恋愛感情

もちろん
女性に限らない

タイプ4

小児性愛性による行動化

2.

加害者タイプから考える予防

加害者は多様であるから多様な対策・対応が必要

性暴力事件発生防止のために

タイプ別に必要となる対応

タイプ1

意識不足型



(厳罰化の設定を含む) 注意喚起

タイプ2

ストレス発散型



ストレスマネジメントの改善

タイプ3

恋愛関係型



(厳罰化の設定を含む) 注意喚起
場面研修

タイプ4

小児性愛型



監視・監督・巡回
※中まで+ランダム(時間・頻度)

スクリーニングは難しい

性犯罪者の共通要因

仕事ストレス
仕事量過多

低い
共感性

乏しい
社会性

家庭の
不和・トラブル

過去の
被害体験

衝動性

ポルノ
閲覧

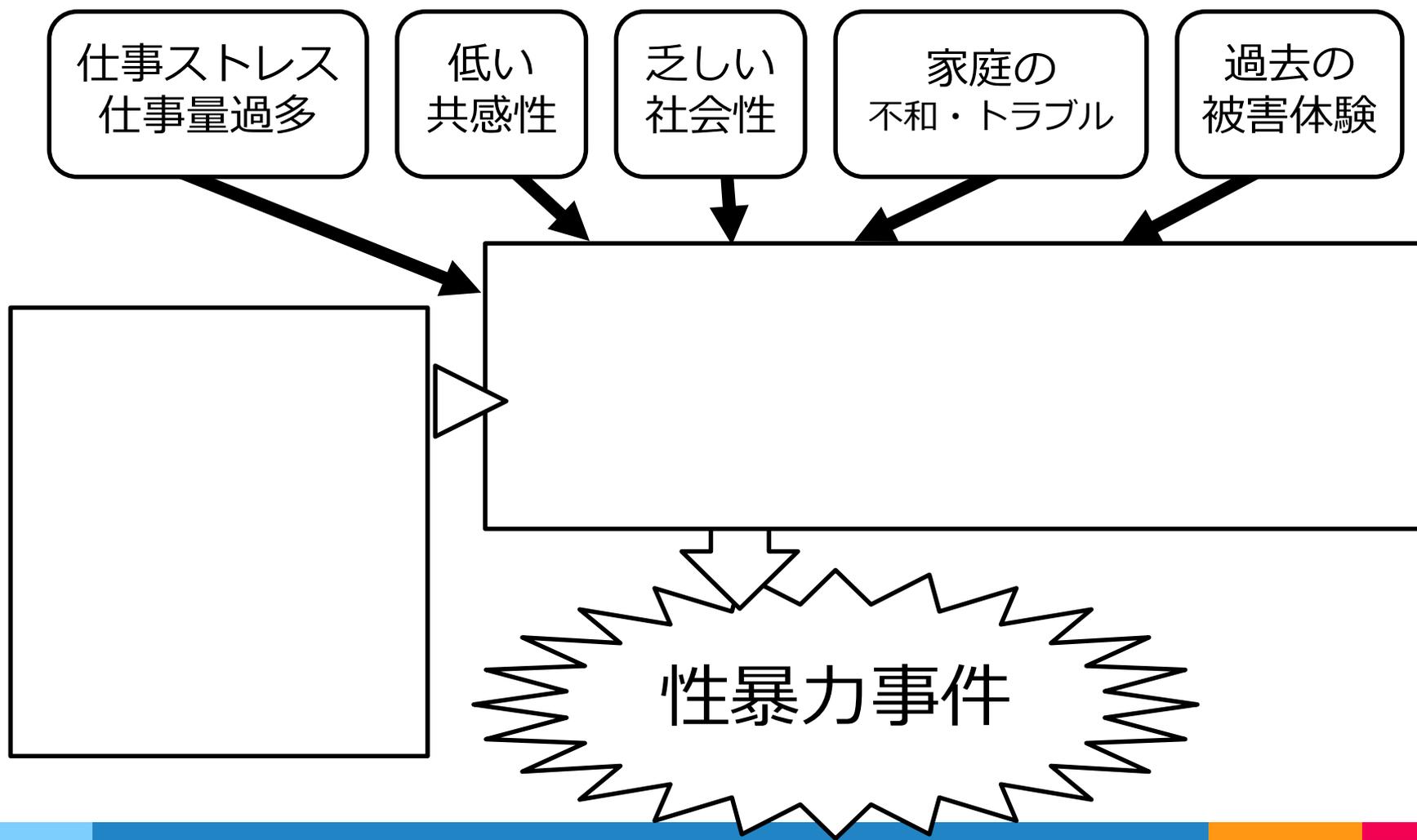
自尊心
劣等感

小児
性愛性

性暴力事件

学校での予防のターゲット

性犯罪者の共通要因



他人事ではなくなる！



「自分はしないから関係ない」
「男性教師の問題でしょう」

**「私はこの学校から性暴力を出さないために
貢献する責任をもった一人の教師なのだ、
これはチームの問題なのだ」**

3.

職場の心理的安全性

職場の風土作りは「協力しましょう」と言えば協力するようになるような単純なものではない

職場の心理的安全性とは



教職員が必要なことを
発言したり、試してみたり、
挑戦しても、“安全”、つまり
罰を与えられない職場・学校

「非」安全な職場・学校

➡ 頑張ったら罰が与えられる職場

提案！



それ
うまくいくの？

提案しても疑われる

報告！提案！



じゃきみが
やりなさいよ

報告・提案すると
仕事が増える

誰のせいなの？



失敗の犯人探し

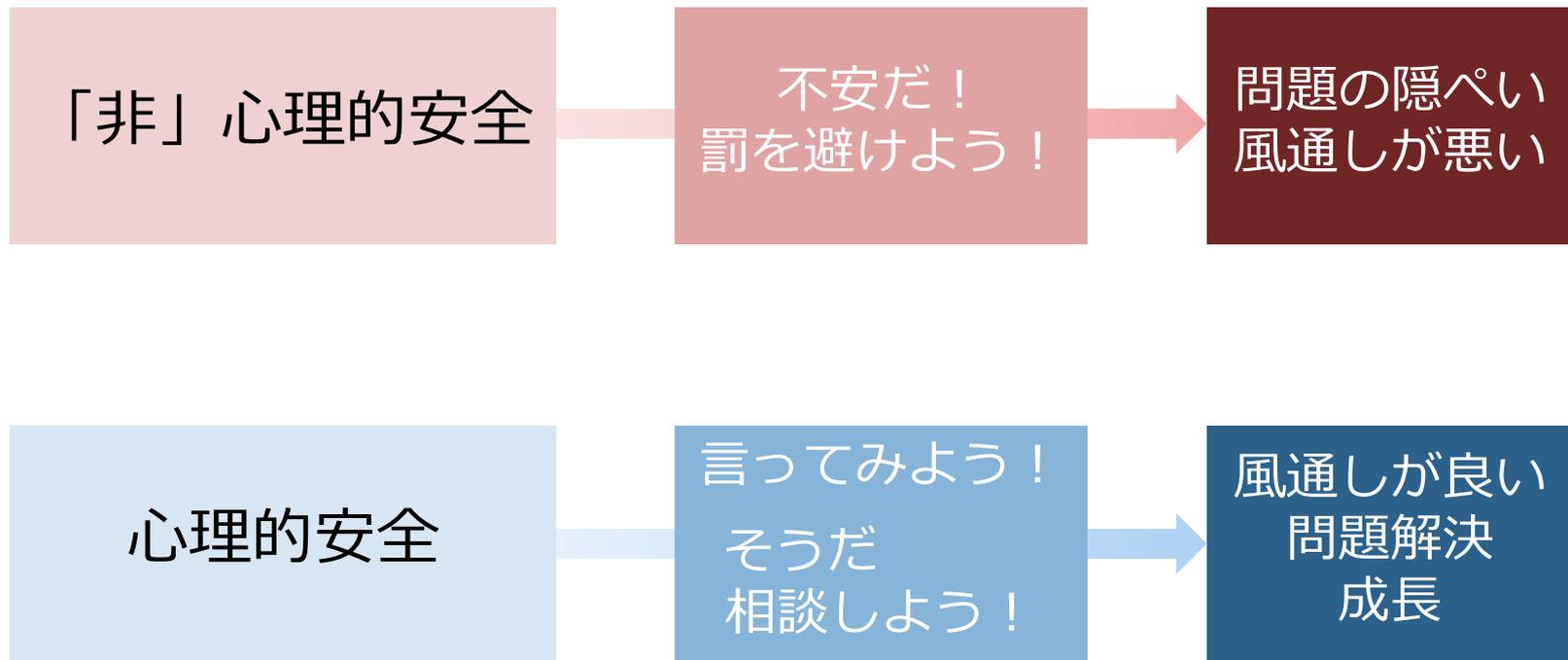
あの考え嫌い！



意見が合わないい…

意見対立で人間関係にヒビ

非安全は罰を避ける行動が生まれる



心理的安全性の4要素

4

新規歓迎

「常識に囚われないぞ」

1

話しやすさ

「何を言っても大丈夫」

3

挑戦

「とりあえずやってみよう」

2

助け合い

「困った時はお互い様」

「話しやすさ」につながる行動

相槌をうつ

うなづく

目を見て聞く

体を話し手に向ける

聞くことのみ行う ×ながら聞き

雑談する

「報告」行為自体をほめる

「助け合い」につながる行動

相談する

相談にのる

問題を見つける

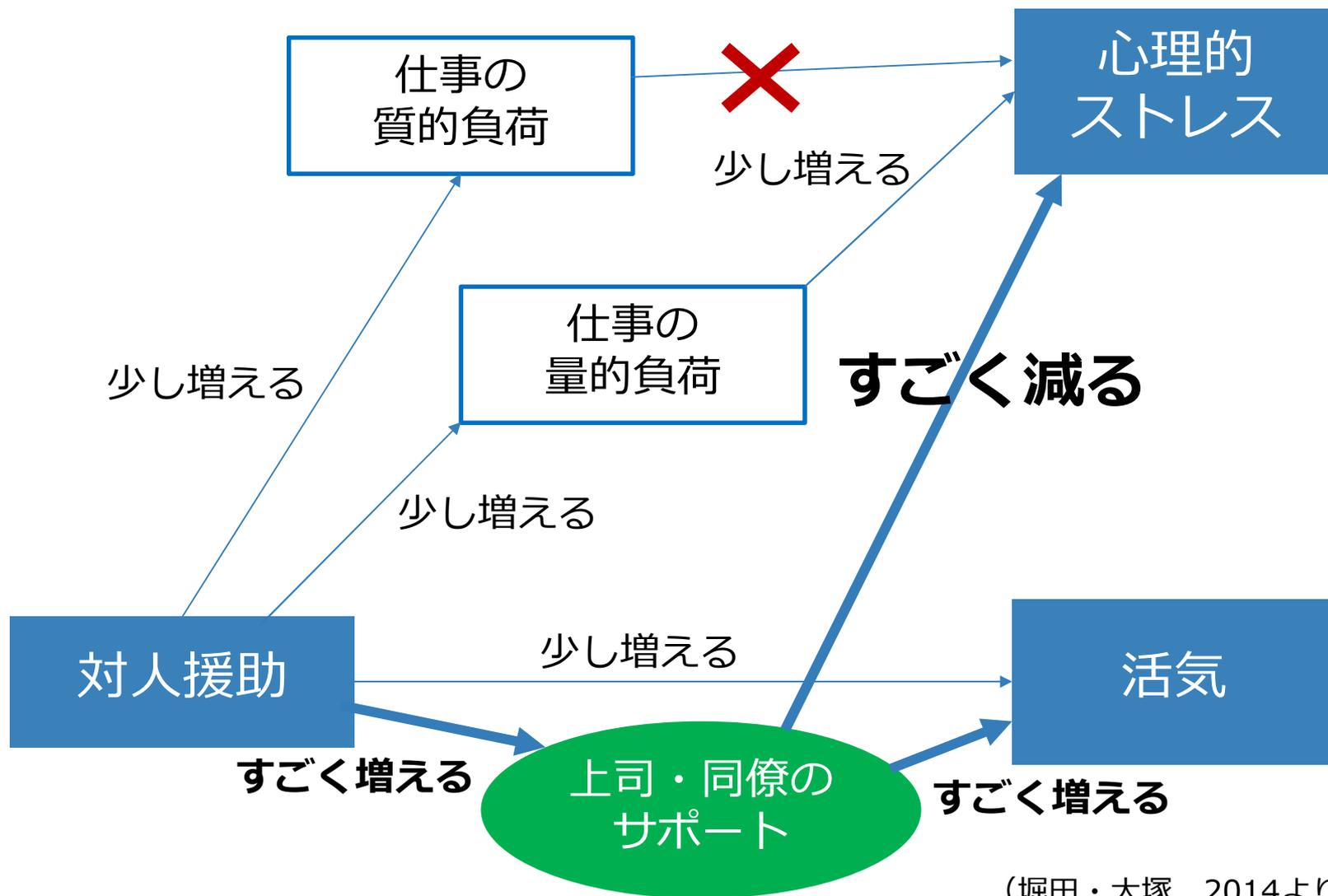
自分一人では対応できないことを認める

解決のアイデアを広く募る

ピンチをチャンスに変えるアイデアを出す

個人ではなくチームの成果を考える

助けることで心理的ストレスは減る



「挑戦」につながる行動

機会をつかむ

常識を疑う

機会を与える

失敗を歓迎する

試す

変化を歓迎する

実験する

工夫する

仮説検証する

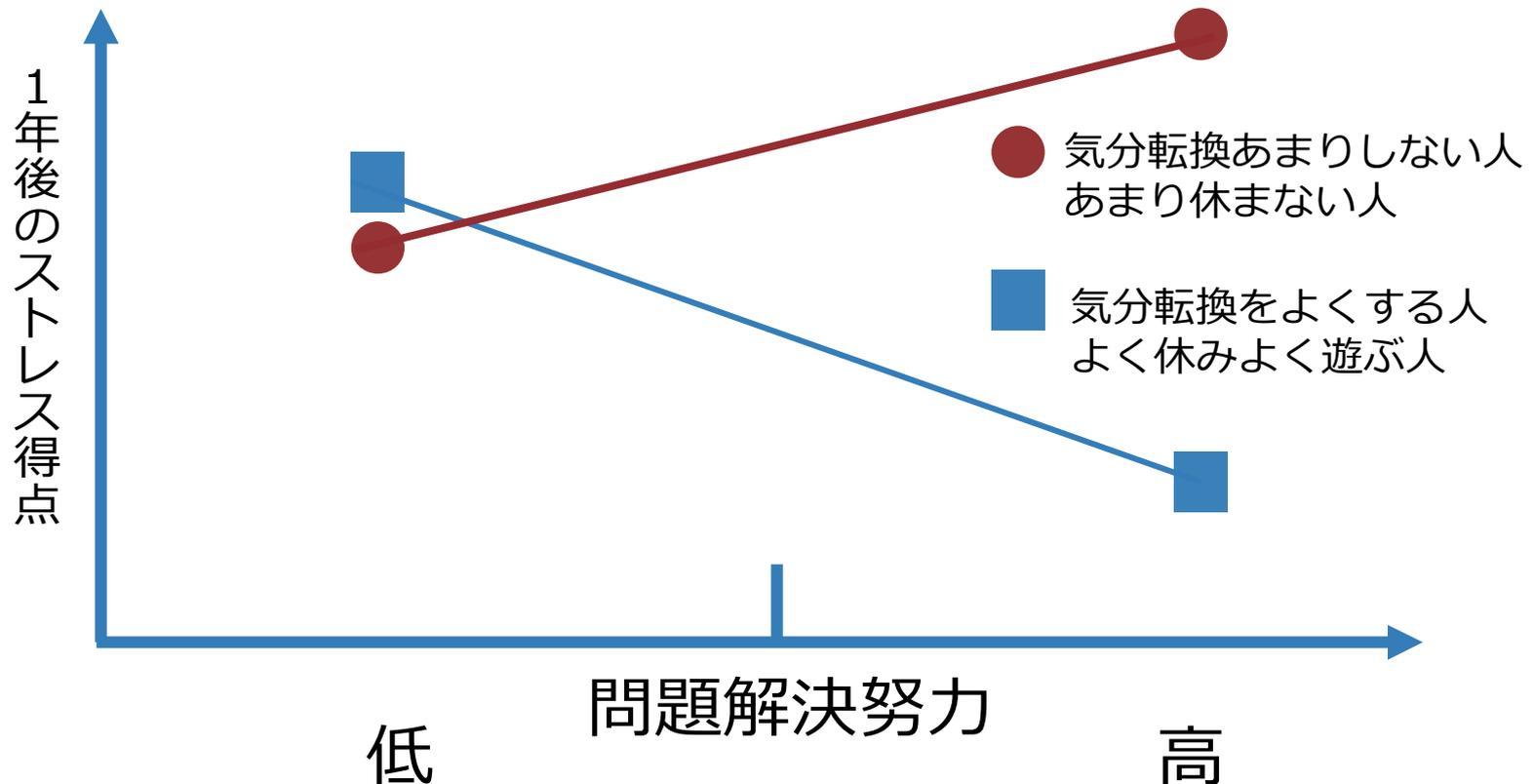
新しいことをする

挑戦自体をほめる

挑戦でもあります

問題解決行動はオフの日が重要

休息がないと問題解決努力は報われない



「新規歓迎」につながる行動

個性を発揮する

個性を歓迎する

強みに応じた役割を与える

常識に固執しない

月並みを拒否する

批判を一時わきに置く

異なるものの見方を共有する

違いを良し悪しでなく違いと認識する

まとめ

予防策は多面的・複数の取り組みで構成

- ➡ 重い罰則と注意喚起
- ➡ 校内の巡回、防犯
- ➡ 風通しの良い職場づくり
- ➡ 個々のストレスマネジメント など

性暴力を他人事にしない意識付け

- ➡ 性について話せる人間関係も

心理的安全性の高い職場が性暴力を防ぐ

講義はこれで終了です
演習に移ります

ワークの内容

1. 性の話題のハードルを下げる

- 人食いワニのいる川のワーク
- 波紋の広がり：自分バージョン

2. 物理的安全を確かめる

- 校内安全マップを性暴力防止の観点から眺める

3. 心理的安全性を高める

- オフタイムの充実を図る
- 話しやすさを高める
- チームメンバーの指導にコメントする

1.

性の話題のハードルを下げる

- 人食いワニのいる川のワーク
- 波紋の広がり：自分バージョン

2.

物理的安全を確かめる

- 校内安全マップを性暴力防止の観点から眺める

校内安全マップの再点検

すでにあるものに性暴力防止の目的を加える



入りやすいが見えにくい 死角

時間帯によって意味が変わる場所

複数回のチェック

中まで入る

研修・演習の例

導入 学校環境整備 安全管理

ケガの可能性など危ない場所はどこか？
修理が必要な場所はないか？



性暴力防止 よりきれいな環境 死角等の検討

修理はいらないが

よりきれいにリノベしたい場所はどこか？

性暴力を含む体罰等が見えにくい場所はどこか？

3.

心理的安全性を高める

- オフタイムの充実を図る
- チームメンバーの指導にコメントする
- 話しやすさを高める

性暴力につながりうることを伝える

【場面】

バレーボール部を担当している教師Aはいつものように厳しく指導をしていた

➡ 具体的シーン

また教師Aは生徒を許可なく自家用車に乗せてはならないという規則についても反対の考えをもっており実際に違反していた

それをみた教師B（あなた）は心配になり、そのことを教師Aに伝えようと決心した

どのように伝えますか？

奥義

最初の反応

「それはちょうどよかった」

「それを相談してもらえるのは嬉しいよ、だってね…」

「おおそれはけっこう深い話だよ」

演習はこれで終了です